地区	展覧会名	内容 〔公財〕圓山記念日本工藝美術	開幕日	閉幕日	10月		11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	館蔵名品展「日本の工藝に見る デザイン2」		2022/9/22	2022/12/22							
	館蔵名品展「日本の工藝に見る デザイン3」		2023/1/23	2023/3/23							
中播磨地区	##のカリスマ	日本玩具博物館 世界各国のクリスマス飾りを通して、各地のクリスマ			10月	111111111	11月	12月	1月	2月	3月
中推着地区		世界各国のグリカベス師りを通して、各地のグリスマス風景を描き、この行事の意味を探る催し。ツリー飾リ・キリスト降誕人形・お菓子とオーナメントなど、50か国から1000点もが一堂に並びます。	2022/11/3	2023/1/22							
	兎の郷土玩具 2号館特別陳列 コーナー	日本全国各地で作られた兎の郷土玩具200点が一堂に 並びます。	2022/11/12	2023/2/26							
	から昭和のお雛	江戸時代から昭和の時代までに雛人形が展示されます。時代による雛人形の変遷や、江戸と京・大阪の地域による形式や飾り方の違いなどがご覧いただきます。	2023/2/4	2023/4/15							
					10月		11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	第58回「姫路 市児童生徒科学 作品展」 科学 工作の部	小中学生が夏休みに取り組んだ科学工作の優秀作品を	2022/10/1	2022/10/23							
	第58回「姫路 市児童生徒科学 作品展」 調査 研究の部	小中学生が夏休みに取り組んだ自由研究の優秀作品を 展示します。	2022/10/29	2022/11/20							
		「新年」や「おめでたい」をキーワードにした植物 と、お正月の遊びやおもちゃに隠れた科学を展示しま す。	2023/1/5	2023/1/22							
		児童生徒が、50年から100年後の未来を想像し描いた 絵画を展示します。	2023/1/28	2023/2/19							
		姫路とその周辺には、どんな生き物がいるのだろう? みなさんから寄せられた写真を通じて、播磨地域の生 き物の多様性を探ります。	2023/3/11	2023/4/10							
		姫路市書写の里・美術工芸館			10月		11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	特別展「2022年播磨工芸美術展」	据磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」によ る陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作約30点を展示。併 せて審査のうえ優秀作品を展示する公募部門を設け、 新人工芸作家の育成・発掘を図る。	2022/9/3	2022/10/23							
		当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照 (1911- 1999) は、奈良東大寺最高位の別当を務め、書や墨 画、泥仏 (どろぼとけ) と呼ばれる陶芸作品を制作し た。これらの中から名品を紹介する。	2022/9/3	2022/10/23							
	しもとみお木彫	はしもとみお(1980-)は兵庫県出身の動物彫刻作家。本展では「タチの生まれるところ」をテーマに、木彫作品約500点(含小品)、デッサン約150点を展示紹介する。	2022/10/28	2022/12/24							
	新春特別展「播	姫路を中心とした播磨地域では、古くから木や漆を用いて優れた工芸品が数多く作られてきた。本展は播磨地域に縁のある伝統工芸作家6名の作品約30点を展示し、伝統的な技に裏打ちされた木工や漆芸の匠の技を紹介。	2023/1/6	2023/3/5							
		1975年に奈良東大寺住職(別当)に就任した清水公照は、各地の窯元・工房を訪ね全国で収集したコレクションは多数に及ぶ。代表的なコレクションを館蔵品から約40点展示し、併せてその交友を紹介する。	2023/1/6	2023/4/9							

	企画展「播磨の 工芸品名選」	館蔵品を中心に、陶芸、染織、木工、金工、革工芸などの播磨地域の工芸品に焦点をあてて、その魅力を広 〈紹介する。 姫路市立水族館	2023/3/11	2023/4/9	10)月	11,	3	1:	2月	1	3	2,5			3月
中播磨地区	「砂浜の自然ー 海ごみを考え る一」(仮称)	砂浜の動植物の写真や解説などのバネル展示、漂着物 「海ごみ」の展示など	2023/1/23	2023/3/23												
中播磨地区	秋のサボテンと	姫路市立手柄山温室植物園 サポテン・多肉植物を50種150点展示します。販売も			10	月	11,	月	12	2月	1,	月	2 <i>5</i>			3月
	多肉植物展	あり。協力:姫路サポテンクラブ	2022/10/1	2022/10/10												
	秋のベゴニア展	50種150点展示します。販売もあり。 協力:姫路ベゴニア同好会	2022/10/15	2022/10/23												
	盆栽展	要好家が長い年月をかけ仕立てた、美しい姿・形の盆 裁を10席展示します。協力:盆栽要好家有志	2022/10/29	2022/10/31												
	秋の洋ラン展	100種150点展示します。販売もあり。 協力:姫路ラン会・播磨ラン会	2022/11/19	2022/11/27												
	シクラメン展	50種150点展示します。販売もあり。	2022/12/3	2022/12/25												
	新春洋ラン展	100種200点展示します。販売もあり。 協力:姫路ラン会・播磨ラン会	2023/1/7	2023/1/15												
	エアプランツと その仲間展	エアプランツを中心に50種150点展示します。	2023/1/21	2023/2/12												
	クリスマスロー ズ展	30種150点展示します。即売もあり。	2023/2/18	2023/3/5												
	V-#3	姫路市立美術館		I	10)月	11,	月	12	2月	1,	月 一	2,5]	3	3月
中播磨地区	取り 一日本文	優れた古歌の一部を引用し作歌する和歌の技法「本歌 取り」こそが日本文化のありようであると考える杉本 博司が、デュシャンの「レディメイド」等を参照しな がら、独自の解釈を加え新たな作品世界を構築しま す。	2022/9/17	2022/11/6												
	本歌取り式 名 画選	杉本博司の「本歌取り」を援用し、美術館学芸員がコ レクションを再検証。美術館の所蔵作品を杉本作品と ともに展示します。	2022/11/19	2023/1/15												
	第76回姫路市 美術展	兵庫県内では最も古い公募展。応募作品のうち、入 選・入賞作品を公開します。	2023/2/18	2023/3/5												
A45 A5 11 F	20.00 1 0 F -	姫路文学館		I	10)月	11,	月	12	2月	1	9	2 <i>F</i>	3	3	3月
中播磨地区	山松之助展 あ	生い立ちや業績とともに、書画や草木スケッチ、茶杓 の制作を楽しんだ文化人としての人となりを紹介しな がら、歌舞伎や茶道など、西山が愛した江戸文化の魅 力を伝えます。	2022/9/23	2022/12/4												
	没後40年記念 歌人安田青風展	教育者として、また歌誌「白珠」の主宰として多くの 後進を育てた人物です。「清風」の名のとおり、さわ やかな風のようだったといわれる人物像と、88歳の生 涯でたどりついた独自の歌の世界を紹介します。	2023/1/14	2023/3/26												

	兵庫県立歴史博物館						11月	12月	1月	2月	3月	
中播磨地区	巡回展「"ひょ うご五国"歴史 文化キャラバ ン」(播磨)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度 から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教 育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡 回展示を開催します。【会場:赤穂市立歴史博物館】	2022/9/10	2022/10/18								
	巡回展「"ひょ うご五国"歴史 文化キャラバ ン」(丹波)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度 から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教 育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡 回展示を開催します。【会場:丹波市立柏原歴史民俗 資料館】	2022/11/12	2022/12/18								
	巡回展「"ひょ うご五国"歴史 文化キャラバ ン」(摂津)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度 から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教 育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡 回展示を開催します。【会場:兵庫県立兵庫津ミュー ジアム】	2023/2/4	2023/3/5								
		三木美術館	T	1		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中播磨地区	パリへの憧れ 色絵-陶磁器を 彩る色の世界-	岡田三郎助や荻須高徳など、パリ留学より影響を受け た画家たちの作品を一挙にご紹介。陶磁器では、十二 代から十四代までの酒井田柿右衛門や十三代今泉今右 衛門など近代作家たちの手掛ける色絵の作品をご紹 介。	2022/8/31	2022/11/27								
	き ひとの姿 那波多目功一・	陶磁器では、近現代作家たちの手掛ける金銀彩の作品 をご紹介。絵画では二つの企画展を開催。人物画に焦 点を当てた展覧会と、もう一つは日本画家、那波多目 功一氏と牧進氏の当館所蔵作品を一挙にご紹介。	2022/11/30	2023/2/26								
	萩焼の造形美 静物画の世界	陶磁器では、近現代の萩焼の作品の数々をご紹介。また、絵画では静物画の作品をご紹介。	2023/3/1	2023/5/28								
	1	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館				10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中播磨地区	神崎タイムスにみる福崎(仮)	本展では、神崎郡唯一の郷土新聞である「神崎タイム ス」に記された昭和20~40年代の福崎の様子につい て、関連資料を用いながら紹介します。	2022/10/22	2022/12/4								
1 100 00 111		福崎町立柳田國男・松岡家記念館				10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中播磨地区		柳田國男の出身である松岡家は、代々医術と学問に通 じた家でした。本展では、柳田國男と兄弟たちの「先 祖」が残した資料から、柳田國男自身の「先祖の話」 を探ります。	2022/10/1	2022/12/4								